

担当講座	救急・災害医学講座	問合せ先	救急・災害医学講座
分野責任者	眞瀬 智彦 教授	連絡先	内線 5565
担当教員	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 近藤 久禎 非常勤講師 野口 英一 非常勤講師 富岡 正雄 非常勤講師 林 宗博 非常勤講師 金子 拓 助教		
人材育成の基本理念	災害医学全般を理解し、実際の災害において災害現場、被災病院、災害対策本部等で従事できる人材を育成する。		
主な研究内容	東日本大震災など大規模災害の医療活動を総括し、今後の災害に対応できる仕組みを構築する。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	(1) 災害医学全般について理解することで、実災害において活動できる医療人に到達する。 (2) 危機管理を理解することで、実災害において活動できる医療人に到達する。	(1) 1, 2, 3, 8 (2) 4, 5, 6, 7	
到達目標	到達目標	対象科目	
	(1) 生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる。	ベーシックセミナー	
	(2) 適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論	
	(3) 得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究 I II III	
	(4) 解析結果をまとめ、発表できる（英文が望ましい）。	特別研究 I II III	
	(5) 病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究 I II III	
	(6) 次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究 I II III、大学院セミナー	
	(7) 過去の災害から得た教訓について学び、今後の課題について説明できる。	災害医学概論、災害医学各論1・3・6、災害医学セミナー1・2・4	
	(8) 災害時に情報を収集し、状況を判断して、医療活動方針を立てることができる。	災害医学概論、災害医学各論1・2・5、災害医学セミナー1・3・4	
	(9) 被災地での医療活動ができる。	災害医学各論2・3・6、災害医学セミナー1・2・3	
	(10) 他機関との連携ができる。	災害医学概論、災害医学各論1・2・4・5、災害医学セミナー3	
(11) 避難所での活動について説明できる。	災害医学各論1・2・3・4・5、災害医学セミナー3・4		
資格取得等	日本DMAT隊員資格、社会医学系専門医の取得に必要な知識と技能を修得できる。		
履修に関する情報	社会人大学院生など、勤務等で授業に参加できない場合は、日程調整に応じる（問い合わせ先：災害医学分野・内線 5565）		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに必要な単位	備考
研究特論	1～4年	講義 災害医学概論	前期	8コマ	1	20単位	
		講義・演習 災害医学各論1（災害急性期）	通年	15コマ	2		
		講義・演習 災害医学各論2（災害時の情報）	通年	15コマ	2		
		講義・演習 災害医学各論3（災害慢性期）	通年	30コマ	4		
		講義・演習 災害医学各論4（災害現場指揮）	通年	8コマ	1		
		講義・演習 災害医学各論5（本部運営）	通年	15コマ	2		
	講義・演習 災害医学各論6（特殊災害）	通年	30コマ	4			
	1年	講義・演習 災害医学セミナー1	通年	8コマ	1		
	2年	講義・演習 災害医学セミナー2	通年	8コマ	1		
	3年	講義・演習 災害医学セミナー3	通年	8コマ	1		
4年	講義・演習 災害医学セミナー4	通年	8コマ	1			
特別研究	必修	2年	特別研究 I（初期審査）	通年	8	4単位	※2021年度以降入学者対象科目
		3年	特別研究 II（中間審査）	通年	8		
		4年	特別研究 III（論文作成）	通年	15		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

災害医学

コード	MD15241010					MD15241020					MD15241030					MD15241040				
科目	災害医学概論					災害医学各論1 (災害急性期)					災害医学各論2 (災害時の情報)					災害医学各論3 (災害慢性期)				
科目責任者	眞瀬智彦					眞瀬智彦					眞瀬智彦					眞瀬智彦				
担当者	眞瀬智彦、近藤久禎					眞瀬智彦					眞瀬智彦、藤原弘之、富永綾、野口英一					眞瀬智彦、富永綾、富岡正雄				
会場	災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室				
区分等	区分	講義	単位	1		区分	講義・演習	単位	2		区分	講義・演習	単位	2		区分	講義・演習	単位	4	
	回数	通年8コマ	配当年次	1～4		回数	通年15コマ	配当年次	1～4		回数	通年15コマ	配当年次	1～4		回数	通年30コマ	配当年次	1～4	
主な授業内容	災害医学の基本概念の修得					災害時の急性期における医療従事者としての対応を修得する					災害時における情報の重要性を学び、災害時の通信手段の確保、情報収集、情報処理、情報分析の方法を修得する					災害時の慢性期における対応、医療体制を修得する（避難所支援、防疫活動、DHEAT、JSPEEDなど）				
教育成果	災害医療の原則を説明できるようになる。 我が国における災害医療体制・対応を学び、有事の際の対応に生かすことができるようになる。					トリアージを理解し適切に行うことができるようになる。 被災した医療機関において、適切な災害対応を行うことができるようになる。 被災した医療機関における受援を理解し、適切に対応することができるようになる。					CSCATTTについて説明できるようになる。 災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得し、災害時においても情報を収集・処理・分析できるようになる。 関係各機関との連携を学び、被災地における医療活動に生かすことができるようになる。					避難所の支援活動、運営を行うことができるようになる。 被災地において医学的知見から防疫活動を行うことができるようになる。				
コピレックス番号/達成度	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5
	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	コピレックス6	コピレックス7	コピレックス8			コピレックス6	コピレックス7	コピレックス8			コピレックス6	コピレックス7	コピレックス8			コピレックス6	コピレックス7	コピレックス8		
	C	C	C			B	B	B			B	B	B			B	B	B		
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする(60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

コード	MD15241050					MD15241060					MD15241070									
科目	災害医学各論4 (災害現場指揮)					災害医学各論5 (本部運営)					災害医学各論6 (特殊災害)									
科目責任者	眞瀬智彦					眞瀬智彦					眞瀬智彦									
担当者	眞瀬智彦、藤原弘之、林宗博					眞瀬智彦、藤原弘之、富永綾、金子拓					眞瀬智彦、藤原弘之、富永綾、金子拓									
会場	災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室									
区分等	区分	講義・演習	単位	1		区分	講義・演習	単位	2		区分	講義・演習	単位	4						
	回数	通年8コマ	配当年次	1～4		回数	通年15コマ	配当年次	1～4		回数	通年30コマ	配当年次	1～4						
主な授業内容	災害現場における安全管理と指揮について理解する					災害対策本部、災害医療コーディネーターの役割を理解し、本部の立ち上げから運営までを修得する					災害現場、特殊災害での対応を修得する。 防災・危機管理のエキスパートとして、災害オペレーションを効果的に推進するために必要な知識を修得する。									
教育成果	災害現場において医療チームが安全かつ統制のとれた活動を行うために重要な項目を明確に示すことができる。 他機関との連携がとれるようになる。					災害対策本部の立ち上げや役割を理解し、災害発生後の初動から運営方法、情報収集の方法から情報のまとめ方までを修得する。 収集した情報から適切な活動方針を立てることができる。					災害現場でのゾーニングや関係機関の役割を学び、現場での医療活動のあり方を検討することができる。 防災・危機管理、関係機関の役割を理解し、有事の際に対応できるようになる。									
コピレックス番号/達成度	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5					
	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A					
	コピレックス6	コピレックス7	コピレックス8			コピレックス6	コピレックス7	コピレックス8			コピレックス6	コピレックス7	コピレックス8							
	A	A	A			A	A	A			A	A	A							
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする(60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

●各科目の授業計画

災害医学

コード	MD15241080					MD15241090					MD15241100					MD15241110				
科目	災害医学セミナー1					災害医学セミナー2					災害医学セミナー3					災害医学セミナー4				
科目責任者	眞瀬智彦					眞瀬智彦					眞瀬智彦					眞瀬智彦				
担当者	眞瀬智彦、藤原弘之、金子拓					眞瀬智彦、富永綾、金子拓					眞瀬智彦、藤原弘之、富永綾					眞瀬智彦、藤原弘之、富永綾				
会場	災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室				
区分等	区分	講義・演習	単位	1		区分	講義・演習	単位	1		区分	講義・演習	単位	1		区分	講義・演習	単位	1	
	回数	通年8コマ	配当年次	1		回数	通年8コマ	配当年次	2		回数	通年8コマ	配当年次	3		回数	通年8コマ	配当年次	4	
主な授業内容	過去の災害医療活動の検証					災害時の医療活動の改善点					課題に沿った訓練企画					災害医療の現状と未来 災害医療分野への提言				
アウットカム	災害医療の原則を説明できるようになる。 我が国における災害医療体制や過去の災害の対応を学び、課題を述べる事ができる。					災害医療の課題から、今後のあるべき医療活動を述べる事ができる。					災害時の医療訓練を企画・実行することができる。					実災害での活動ができる。				
コピー番号/達成度	コピー番号1	コピー番号2	コピー番号3	コピー番号4	コピー番号5	コピー番号1	コピー番号2	コピー番号3	コピー番号4	コピー番号5	コピー番号1	コピー番号2	コピー番号3	コピー番号4	コピー番号5	コピー番号1	コピー番号2	コピー番号3	コピー番号4	コピー番号5
	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A
コピー番号/達成度	コピー番号6	コピー番号7	コピー番号8			コピー番号6	コピー番号7	コピー番号8			コピー番号6	コピー番号7	コピー番号8			コピー番号6	コピー番号7	コピー番号8		
	C	C	C			B	B	B			B	B	B			A	A	A		
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学学生】 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	【2021年度以降の入学学生】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学学生】出席、レポートなどにより総合的に評価する。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

コード	MD15249010					MD15249020					MD15249030									
科目	特別研究Ⅰ					特別研究Ⅱ					特別研究Ⅲ									
科目責任者	各(正)指導教員					各(正)指導教員					各(正)指導教員									
担当者	各指導教員					各指導教員					各指導教員									
会場	各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定									
区分等	区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	2						
	回数	通年8コマ	配当年次	2		回数	通年8コマ	配当年次	3		回数	通年15コマ	配当年次	4						
主な授業内容	・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査の準備					・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備					・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備									
アウットカム	生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <初期審査>2年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。 研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査>3年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。 研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成>学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。									
コピー番号/達成度	コピー番号1	コピー番号2	コピー番号3	コピー番号4	コピー番号5	コピー番号1	コピー番号2	コピー番号3	コピー番号4	コピー番号5	コピー番号1	コピー番号2	コピー番号3	コピー番号4	コピー番号5					
	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A					
コピー番号/達成度	コピー番号6	コピー番号7	コピー番号8			コピー番号6	コピー番号7	コピー番号8			コピー番号6	コピー番号7	コピー番号8							
	C	C	C			B	B	B			A	A	A							
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。									
評価方法	「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。																			
講義日程																				
教科書参考書																				

●時間割

災害医学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						災害医学セミナー1~4/共通教育科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30		災害医学概論			災害医学各論3	
4 限	14:40~16:10	災害医学各論1	災害医学各論2	災害医学各論6	災害医学各論5	災害医学各論4	
5 限	18:00~19:30					特別研究 I~III	
6 限	19:40~21:10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						災害医学セミナー1~4/共通教育科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30		災害医学概論			災害医学各論3	
4 限	14:40~16:10	災害医学各論1	災害医学各論2	災害医学各論6	災害医学各論5	災害医学各論4	
5 限	18:00~19:30					特別研究 I~III	
6 限	19:40~21:10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						